マネジメントモデルと エンゲージメントモデル

| 役員メッセージ |

ジェイテクトは、2017年3月に
マネジメントモデルとエンゲージメントモデルを策定しました。
全従業員が一丸となって企業価値の創造に邁進すると同時に、
ステークホルダーのみなさまとともに社会の持続的成長に向けて
企業価値の共創を図ってまいります。

株式会社ジェイテクト 常務取締役
髙橋 伴和
TOMOKAZU TAKAHASHI

私は米国、欧州での駐在が長く、欧米企業のスピード感を目の当たりにしてきました。
例をあげれば枚挙にいとまありませんが、それまでの企業間の壁をものすごい勢いで壊し、企業連合ともいえる大きな塊となり、1つの方向に突き進んでいます。一方で当社は、売上高が1兆3,000億円を超え、従業員も44,000人を数えるほどに大きくはなりましたが、たとえば、本誌でも非財務KPI(※)として紹介している“従業員の自部門ビジョン理解度”を見ても、2016年度は60.2%と、決して皆が同じ方向を向いているとは言えません。そこで、従来、企業理念としていた、ありたい姿を示す企業理念、目指す姿を示すJTEKT GROUP VISION、共有すべき価値観のJTEKT WAYを家の屋根とし、それら支える要素を加え、「私たちはこの“ジェイテクトハウス”でともに働く“ジェイテクトファミリー”である」との思いも込めた、家の形をした「マネジメントモデル」を2017年3月に策定しました。同4月には社内浸透活動を始めており、今後はグローバルに広げてまいります。
2017年3月にはもう1つ、「エンゲージメントモデル」を策定しました。今、世の中にSDGsやESGが広く受け入れられておりますように、社会全体が持続的成長を重視する方向に向かっています。その中で、当社も持続的成長を実現する一員として、社会に認められなければなりません。一方、当社の中にこもっても、当社が社会の持続的成長にどう貢献しているのか、期待に応えられているのか、まだ足りないのか、を客観的に知ることはできません。当社は世界中に拠点を持ち、実にさまざまなステークホルダーのみなさまとお付き合いがありますので、外にも目を向け、みなさまと主体的に対話の機会を持ち、みなさまとともに持続的成長に向けた価値の共創を遂げていきたいと思います。

※ KPI 重要業績評価指標(Key Performance Indicator)の略

TOPICS

R4タウンミーティングの開催

マネジメント層と従業員間のエンゲージメントをより確かなものにするために、月1回、社長自らが直接、若手・中堅クラスの従業員と意見交換を行う「R4タウンミーティング」を実施しています。テーマは、日常業務での困りごとからジェイテクトの将来まで、普段の業務から大きく視野を広げ、活発な議論を行っています。2016年のスタート以来、計26回、全国の工場・事業場で開催しました。